

ASO

UNESCO GLOBAL GEOPARK

阿蘇ユネスコジオパーク

阿蘇火山の大地と人間生活に触れる、時空を超える旅



Japanese

阿蘇は、 ～阿蘇火山の大地と人間生活にふれる、時空を超える旅～ 生きている。

阿蘇ユネスコジオパークの魅力

阿蘇火山の大地と人間生活

■ジオパークとは

地球や大地の営みを科学的に観察し、地層や岩石、地形、火山、断層など、特別に貴重で美しい自然遺産が数多く存在する地域を「ジオパーク(大地の公園)」といいます。ジオパークは、その保全と活用を重視し、そこで暮らす人々の文化を含めた自然遺産を通じて、ジオ(地球・大地)に親しみ、その成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。この取り組みは、2004年に設立された世界ジオパークネットワークの活動によって世界中に広まり、2015年11月にユネスコの正式事業となりました。



九州における第四紀火山の分布

阿蘇火山は別府～由布岳、鶴見岳～九重～阿蘇～金峰山～雲仙という東西方向の火山の並びと、阿蘇～霧島～桜島～開聞岳という南北方向の並びとの会合点にあたります。それが、阿蘇火山の構造や構成岩質の複雑さに影響しています。

九州の中部にある阿蘇カルデラは、東西約18km、南北約25km、面積は約380km²と、世界最大級の規模を誇り、このなかには現在も噴煙を上げ続けている中岳をはじめ、高岳、根子岳、杵島岳、烏帽子岳の阿蘇五岳と、多くの山体で構成される中央火口丘群があります。それらの南北の山麓には平地が広がり、火山群と平地を取り巻く外輪山は外側になだらかな火砕流台地を形成しています。この阿蘇特有の地形をつくりだしているのは、約27万年前以降活発な活動を繰り返してきた阿蘇火山です。阿蘇ユネスコジオパークにおける最大のテーマは、この阿蘇火山の大地がどのようにしてできたのかを学び、大地からもたらされる恵みを受け、人々がどのような生活を営み、特有の文化と景観を育んできたのか、阿蘇火山の大地の成り立ちと、人間生活の関わりに対する理解を深めることにあります。阿蘇ユネスコジオパークは2009年10月に日本ジオパークネットワークに加盟認定後、地域の人々が主体となった保全・調査研究・ツーリズム・教育・普及啓発活動が評価され、2014年9月に世界ジオパークネットワークに加盟認定されました。今後も地域の遺産を守り、未来に繋げるジオパークの活動を推進していきます。

阿蘇ユネスコジオパークのストーリー

阿蘇火山の大地と人間生活の関わりについて 理解を深める3つのテーマ。

普段なにげなく目にしたり、ふれたりしている風景が、実は意味のある地形だったりします。そのひとつが阿蘇火山の大地の成り立ち、人間生活との関わりを紐解く重要な鍵になるのです。阿蘇ユネスコジオパークの魅力を、より理解しやすく伝えるために、3つのテーマをもとにジオサイトやジオツーリズムをご紹介します。

巨大カルデラに刻まれた噴火の記憶

阿蘇ユネスコジオパークの象徴である世界有数の巨大カルデラ。約27万年前以降の活発な火山活動と、約9万年前の大噴火によって形成された独特の地形や地層、噴火がもたらした日本各地への影響などを、ジオサイトを通じて理解していきます。

Point!

- ①世界有数のカルデラと火山地形の形成について
- ②約9万年前の巨大噴火がもたらした影響について

地球の息吹を間近に感じる中岳火口

カルデラ内にある火山群の中でも、有史時代を通じて今日にいたるまで、活発な活動を繰り返してきた中岳火口にスポットを当てます。中岳火口に見られる周辺地域の特殊な景観、生態系、さらに活動火山と共生する人々の姿をご紹介します。

Point!

- ①間近に体感できる活動火口と、周辺地域の特殊景観
- ②活動火山とともに生きる人々

火山がもたらした恵みと人々の暮らし

活動火山とともに暮らす人々は、自然との共生をはかり、火山に畏敬の念を抱き、そして独自の文化・生活を築いてきました。また、火山地帯によく見られる湧水や温泉など、自然は人々に大きな恵みをもたらしてきた存在でもあります。

Point!

- ①阿蘇火山がもたらす恵み
- ②阿蘇火山の神格化と、農耕神事の歴史
- ③火山との共生生活、人々が守り育てる景観



数十万年の時空を超える感動体験。 阿蘇ユネスコジオパークの 魅力に迫るジオサイト。

阿蘇ユネスコジオパークには、この地域の持つ多様な歴史を学び、未来へのヒントを考えることができる魅力的な場所「ジオサイト」が多数存在します。



大観峰



カルデラ壁 アカホヤ火山灰層

1 大観峰カルデラジオサイト

世界有数の規模であるカルデラ地形を観察することで、その大地に刻まれた噴火の記憶を体験できるジオサイト。カルデラ形成当時の噴火の規模やその影響について考えます。



中岳

2 中岳ジオサイト

現在も活動を繰り返す火山から地球の営みを間近に感じるジオサイト。火山がつくり出している独特の地形や地層について理解を深められます。また、活動火口を崇める人々の文化についても学べます。



草千里ヶ浜

3 草千里ジオサイト

草千里は約3万年前に形成された直径約1kmの火口の中に、約400mの火口が生じた二重火口。その特徴的な地形と、火口跡にたまった池周辺に生育する湿地性植物などを観察できます。



米塚

4 米塚ジオサイト

阿蘇火山の中でも約3,000年前と新しい時期に形成された典型的なスコリア丘。国内では最も均整のとれたもののひとつ。溶岩流による溶岩トンネルも見ることができます。



阿蘇神社

11 火山の神ジオサイト

阿蘇開拓の神「健甕龍命(たけいわたつのみこと)」を祀る阿蘇神社を中心に、国造神社、中通古墳群など、阿蘇の人々の信仰を理解する上で重要なサイト。阿蘇独特の祭事である「火焚き神事」が行われる霜神社もあります。



阿蘇黄土の様子

14 阿蘇黄土ジオサイト

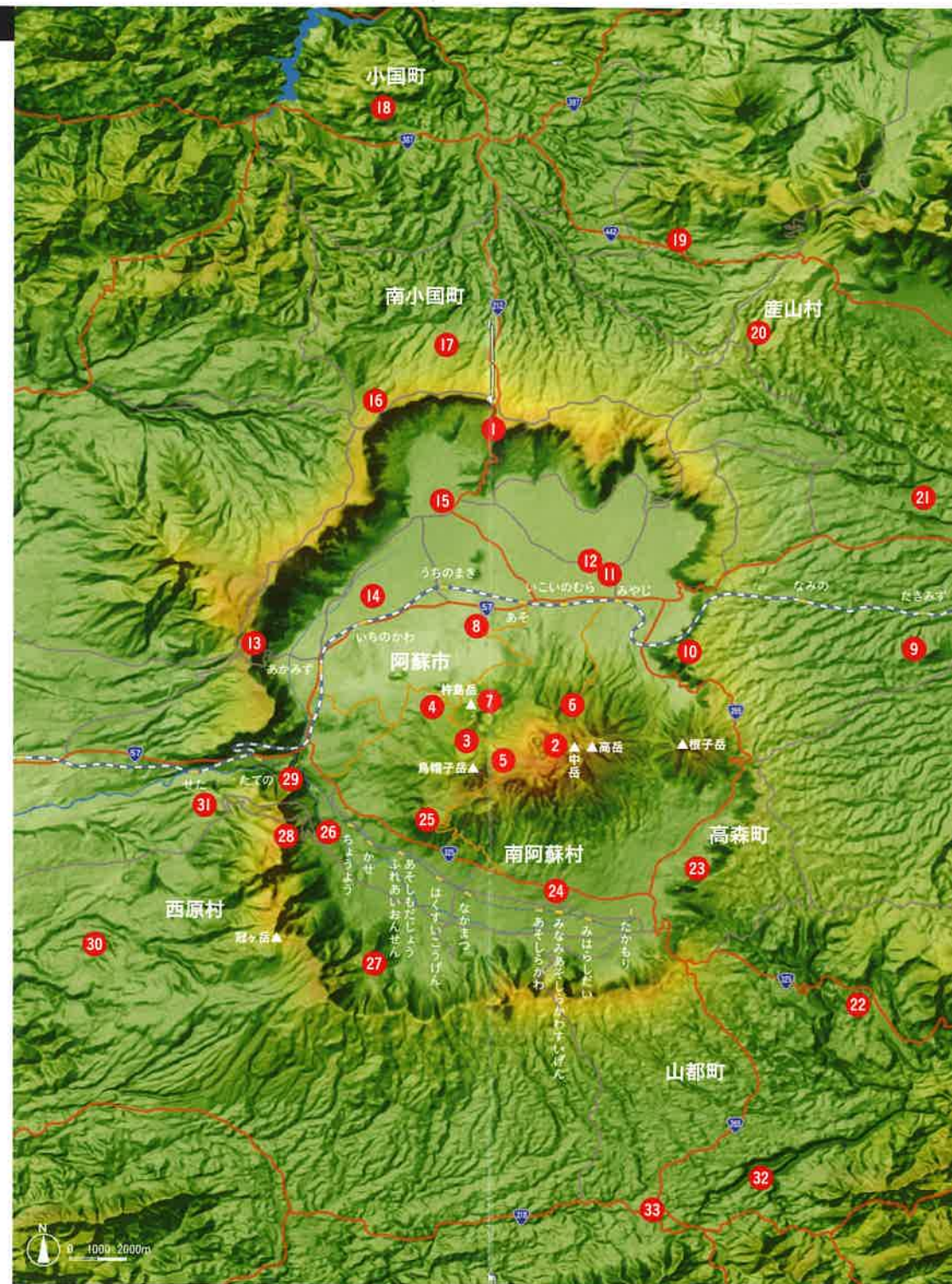
阿蘇谷に分布する阿蘇黄土は、カルデラ形成後の熱水の働きを理解する上で重要なサイトです。古代から黄土を利用してベンガラをつくりたり、鉄鉱石や家畜のえさにも利用されています。



ミルクロードの景観

16 ミルクロード草原ジオサイト

北外輪に広がる広大な草原と、ミルクロード沿いに見られる火山灰土(クロボク、赤ボク、アカホヤ火山灰など)から、草原の成り立ちについて学ぶことができるジオサイト。



押戸石の丘

17 押戸石ジオサイト

標高845メートルの丘陵地にある安山岩の巨石群。最大のものは高さ5.5メートル、周囲15.3メートルの巨岩でピラミッド型をしています。古くから祭事を行う神聖な場所として使われていたといわれています。



網ヶ滝

18 北外輪火砕流ジオサイト

溶結凝灰岩の構造や、火砕流の浸食によってできた独特の景観など、阿蘇の火砕流の特徴を知ることができます。



参勤交代道

21 参勤交代道ジオサイト

自然の地形を活用した参勤交代道を見ることができるジオサイトです。



白川水源

24 南阿蘇湧泉群ジオサイト

阿蘇カルデラ南部に見られる湧水群。中央火口丘群からの伏流水を中心に、南外輪山からの水も入り込み、豊富な湧出量と質の良い水が出ることで知られています。



地獄温泉

25 地獄・垂玉温泉ジオサイト

夜峰山の爆発火口と、その一部が崩壊したところにある温泉地。一帯は中央火口丘群の中では数少ない噴気地帯のひとつでもあります。江戸時代から湯治場として栄えていた地域です。



依山展望所からの眺め

28 依山峠カルデラジオサイト

阿蘇ユネスコジオパークの象徴である巨大カルデラを、南側から望むジオサイト。明瞭な陥没地形を見ることができ、カルデラ内の田園風景からは人々の暮らしを感じられます。



立野峡谷

29 立野峡谷ジオサイト

断層が存在することから、カルデラ湖の形成と断層運動による湖の消失を繰り返してきたと考えられる場所。そのことが、阿蘇開拓の神「健甕龍命(たけいわたつのみこと)」の蹴破り伝説と関連づけられています。



依山周辺からの眺め

31 大峯火山ジオサイト

現在の巨大カルデラができる直前に形成された大峯火山。そこから流出した溶岩から広大な溶岩台地ができました。また、その後の断層運動によって台地が傾動した様子を観察できます。



蘇陽峽

32 蘇陽峽ジオサイト

阿蘇で起きた4回の巨大火砕流を全てみることができる渓谷。カヌー体験をしながら絶壁を見上げ、巨大噴火の凄まじさを体感できる。

その他のジオサイト

5 古坊中ジオサイト	山岳宗教の跡と、中岳火山活動の影響を見る。
6 仙酔峽ジオサイト	火山による特殊景観と希少植物との関係を考える。
7 峠島岳ジオサイト	浸食を受けていない火山地形を観察できるジオサイト。
8 麓坊中ジオサイト	加藤清正によって再興された町。寺社やお地蔵様が多い。
9 荻岳ジオサイト	火砕流台地の様子をよく観察できるジオサイト。
10 古閑の滝ジオサイト	外輪山の一部を形成する板状流紋岩に架かる滝。
12 阿蘇谷湧泉群ジオサイト	扇状地の地形と被圧地下水が湧き出る珍しい地域。
13 二重峠ジオサイト	カルデラ地形や川などから阿蘇火山の成り立ちを考える。
15 内牧温泉ジオサイト	古くから多くの文人が訪れた歴史ある温泉地。
19 小国郷温泉ジオサイト	九重火山による熱源といわれている県内随一の温泉郷。
20 池山・山吹ジオサイト	阿蘇火砕流の中を通った地下水が湧出している。
22 草部ジオサイト	社殿が鳥居より下にある大変珍しい「下り宮」。
23 らくだ山ジオサイト	貫入岩の構造や節理の発達をよく観察できるサイト。
26 南郷谷ジオサイト	カルデラ形成後の湖や河川を考える上で興味ある地形。
27 羅漢山ジオサイト	凝灰角れき岩が浸食や崩壊によって多様な景観になっている。
30 白糸の滝ジオサイト	先阿蘇火山岩が分布する末端部付近にあると考えられる滝。
33 弊立宮ジオサイト	自然に囲まれた高天原神話発祥の地といわれる。

阿蘇ユネスコジオパークのテーマをより深く体感できる
おすすめのコースをご紹介します。

A 地球の息吹を感じる中岳火口



今も噴煙をあげる中岳火口は、有史以前より噴火を繰り返してきた活火山。噴火活動の歴史を思わせる特殊な景観が広がり、さまざまな地形や地質を観察できるコース。

B 世界有数のカルデラの成り立ちとその影響をたどる



カルデラ地形や、火山や人々が作りだした景観を楽しみながら、阿蘇を体感できるコースです。

C 阿蘇火山の恵み～古代の暮らしと水～



阿蘇の湧水や、由緒正しい神社をめぐりながら、古代から脈々と受け継がれている人々の暮らしを体感できるコースです。

D 火山がつくった地形と人々の暮らし



噴火によって流れ出した溶岩や火砕流から形成される地形の特色を観察しながら、そこに暮らす人々の生活の知恵にもふれられるコースです。

E 阿蘇と神話の不思議をたどる



阿蘇には阿蘇開拓の神、健甕龍命にまつわるさまざまな神話が残されています。阿蘇と阿蘇に伝わる神話と、その不思議をたどるコースです。

より多くの人に阿蘇ユネスコジオパークの魅力にふれ、大地と生活との関わりについて理解を深めていただくために様々な取り組みを行っています。

阿蘇ユネスコジオパークを案内するガイドがいます。



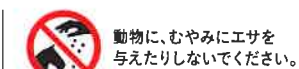
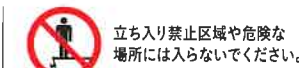
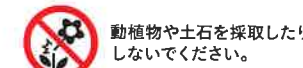
ジオパークのガイドは阿蘇火山とジオサイトのつながりを教えてくれます。有名な美しい景色や、道端に落ちている岩石から、さまざまなものが繋がっていきます。巨大で美しいカルデラをつくる、地球のすごい活動をジオガイドと一緒に探検しよう！

ガイド料金や予約方法など、詳しくはガイド協会事務局までお問い合わせ下さい。

阿蘇ジオパークガイド協会
事務局：阿蘇ジオパーク推進協議会事務局
TEL: 0967-34-2089 FAX: 0967-34-2090
HP: <http://www.aso-geopark.jp/>

【注意事項】

■阿蘇ユネスコジオパークでは、次のことに気をつけてください



■火山ガス規制について

中岳ジオサイト周辺は火山活動の状況によっては、ジオサイト内の立入が規制される場合があります。また、通常時でも常時火山ガスを放出しており、持病のある方のジオサイト見学はできません。

火口の規制状況については阿蘇火山西火口規制情報HPを確認してください。
[日/英/中/韓対応] <http://www.aso.ne.jp/~volcano/>

■安心と安全のための対策



<草原の保全>

阿蘇の草原は、野焼きや放牧など、そこで暮らす人々が手を加え、利用することで維持されています。この草原維持のシステムを永続させるために「野焼きボランティア」育成をはじめ、環境省が中心となって「阿蘇草原再生協議会」が設立されています。

<安全対策>

山岳地域においては、地元の有識者や警察・消防が協力し、登山道の整備や危険箇所のチェックが行われています。また、阿蘇エコツーリズム協会で「エコツーリズムガイドライン」が設定され、ジオツアーに対しても詳細な安全対策がまとめられています。

<警戒体制>

中岳は現在も活動を繰り返す活火山です。気象庁による噴火警戒レベルに合わせた立入規制が「阿蘇火山防災協議会」により行われています。火口周辺にお越しの際は、最新の規制情報をご確認下さい。

阿蘇中岳警戒情報：
<http://www.city.aso.kumamoto.jp/>

阿蘇ユネスコジオパークの4つの拠点施設



阿蘇火山博物館

阿蘇に関する地形や地質、火山活動に関する展示を中心に、動植物、歴史民俗学などについても総合的に展示。火口カメラの映像情報や、学芸員による教育・普及活動を展開しています。
[問] TEL: 0967-34-2111



道の駅阿蘇/ASO田園空間博物館
阿蘇市全域を博物館とするエコミュージアム。人・もの・暮らしなど、阿蘇の宝をわかりやすく展示しています。自然・歴史・伝統・文化を継承する試みを続けています。
[問] TEL: 0967-35-5077

南阿蘇ビジターセンター

阿蘇の自然と人々の暮らしを紹介する施設。自然とのふれあいを深める様々な普及活動が行われています。阿蘇の多様な植物を観察できる阿蘇野草園を併設しています。
[問] TEL: 0967-62-0911

小国ゆうステーション

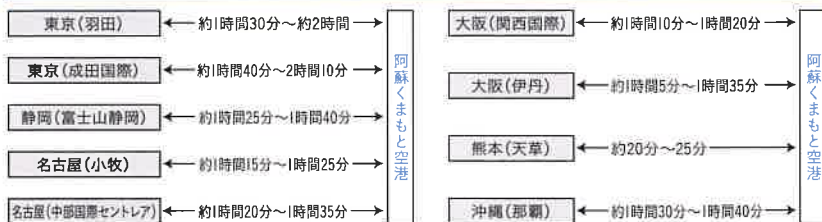
旧国鉄宮原線の肥後小国駅跡地に建てられた道の駅。特産品の販売所や休憩所、ギャラリーを設置。小国ツーリズム協会の事務局が置かれ、小国郷一帯の情報提供を行っています。
[問] TEL: 0967-46-4111



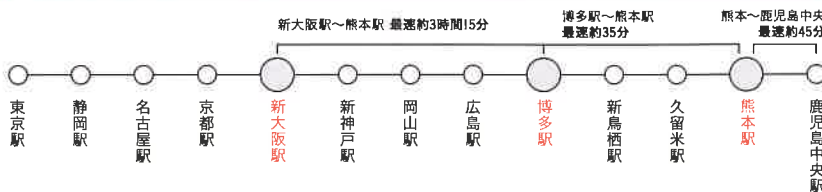
交通アクセス

九州外から阿蘇ユネスコジオパークへのアプローチ

航空



新幹線

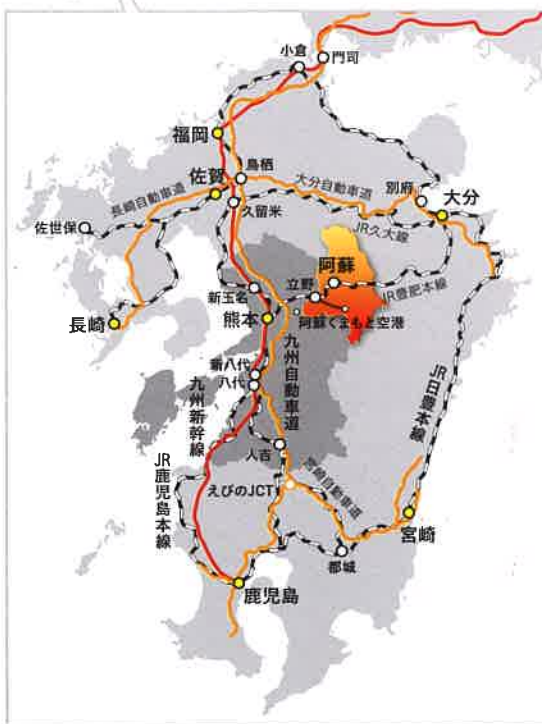
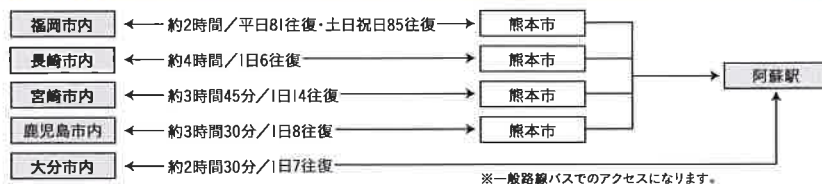


九州各県から阿蘇ユネスコジオパークへのアプローチ

列車



高速バス



令和3年7月現在

お問い合わせ先

阿蘇ジオパーク推進協議会

〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1 阿蘇火山博物館1階

TEL:0967-34-2089 FAX:0967-34-2090

Facebook: 阿蘇ユネスコジオパーク instagram: @asogeopark.official

MAIL: info@aso-geopark.jp

阿蘇ジオパーク 検索